

## 各社の不具合件数等のデータ

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (A社)

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表(2008年10月～2013年9月)

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
2744 台 ※2013年9月現在の数	213件 (ACAS、電波高度計) ※上記の件数は定期検査5778回に対する件数。	235件 (ACAS、気象レーダー) ※上記の件数は5年間の総件数。	有	DME、ATC、気象レーダー、電波高度計、それぞれ1つの型式を除き、全て自社整備	DME、ATC、気象レーダー、電波高度計、それぞれ1つの型式を除き、全て自社整備	整備規程及び無線局運用マニュアル

(注)

- ①の「○」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ②及び③の「○」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ④には、「有」か「無」を記載。
- ⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数(5788回に対する不具合件数)			③通常運航時の不具合件数(件数は5年間の総件数)			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
12件 (ELT、HF)	1件 (ATC)	200件 (ACAS、電波高度計)	4件 (気象レーダー、DME、ELT)	158件 (ATC、気象レーダー)	49件 (気象レーダー、電波高度計)	24件 (VHF、気象レーダー)

(注)

- カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- 定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- 通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (A社)

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況(2008年10月～2013年9月)

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
		(台)	(件)		(回)	(時間)	(件)		(回)		(件)
VHF無線電話 (合計 502台)	2013	102	4	2013	104,616	686,780	1	2013	104,616	0	不具合は増加傾向に無いが、不具合原因として経年使用(約20年以上)装置の半田の劣化が見受けられる。このため、近年は自社整備における品質向上を目的として取り卸しベースで半田付け箇所の詳細な確認を実施しており、今後、不具合件数は減少するものと考えられる。
	2012	211	1	2012	193,762	1,301,986	7	2012	193,762	0	
	2011	206	7	2011	170,619	1,185,039	7	2011	170,619	0	
	2010	178	1	2010	153,177	1,092,792	8	2010	153,177	0	
	2009	183	7	2009	143,021	1,060,337	8	2009	143,021	0	
	2008	95	1	2008	68,956	432,948	3	2008	68,956	0	
HF無線電話 (合計 253台)	2013	35	0	2013	104,616	322,520	4	2013	104,616	0	不具合は増加傾向に無いが、不具合の傾向として経年使用によりクーリングファンのベアリングが摩耗しファンが回らなくなるという不具合が見受けられるようになった、このため自社整備における品質向上を目的として取り卸しベースでファンのベアリング状況の確認を行っており、今後、不具合件数は減少すると考える。
	2012	116	6	2012	193,762	605,760	5	2012	193,762	0	
	2011	113	4	2011	170,619	585,381	1	2011	170,619	0	
	2010	109	4	2010	153,177	579,115	1	2010	153,177	0	
	2009	114	1	2009	141,880	596,969	6	2009	141,880	0	
	2008	65	4	2008	66,349	243,758	1	2008	66,349	0	
ATCトランスポンダ (合計 363台)	2013	118	2	2013	104,616	457,856	3	2013	104,616	0	不具合は増加傾向には無いが、ある型式に対し製造メーカーよりトランジスタの早期故障および過電圧による不具合を解消するための技術通報が出されている。現在、技術通報に基づき順次改修を進めており、今後、更に品質は向上、不具合件数は減少するものと考えられる。
	2012	156	2	2012	193,762	867,987	8	2012	193,762	0	
	2011	148	1	2011	170,619	790,027	8	2011	170,619	0	
	2010	173	2	2010	161,936	806,557	5	2010	161,936	0	
	2009	210	0	2009	171,038	917,994	10	2009	171,038	0	
	2008	56	0	2008	85,815	414,468	2	2008	85,815	0	
機上DME (合計 331台)	2013	73	1	2013	104,616	457,855	3	2013	104,616	0	電源に起因する不具合が見受けられるが、特定部位への集中傾向は無く偶発的な不具合と推察する。
	2012	139	0	2012	193,762	867,985	9	2012	193,762	1	
	2011	133	2	2011	170,619	790,022	3	2011	170,619	0	
	2010	117	0	2010	153,177	720,464	2	2010	153,177	0	
	2009	113	1	2009	143,021	687,655	4	2009	143,021	0	
	2008	82	3	2008	68,956	283,696	2	2008	68,956	0	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (A社)

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況(2008年10月～2013年9月)

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	(台)	(件)		(回)	(時間)	(件)	(回)	(件)			
ACAS (合計 174台)	2013	42	13	2013	104,616	243,942	6	2013	104,616	0	定期検査時の不具合については、ある型式に集中している傾向がある。弊社が経験した当該装置の不具合については運用では問題は無いが検査するとメーカー基準を若干下まわっており、原因は設計上の問題にあると推察されることから製造メーカーに対し改善を要求、品質向上のための技術通報が発行されるに至った。現在、技術通報に基づき順次、改修を進めており、今後、品質は向上、不具合件数は減少するものと考ええる。
	2012	81	34	2012	193,762	448,552	9	2012	193,762	0	
	2011	77	24	2011	170,619	395,040	9	2011	170,619	0	
	2010	72	22	2010	161,936	403,284	14	2010	161,936	0	
	2009	91	13	2009	171,038	458,992	9	2009	171,038	0	
	2008	43	3	2008	85,815	206,261	3	2008	85,815	0	
気象レーダー (合計 311台)	2013	91	1	2013	104,616	396,068	22	2013	104,616	2	近年の通常運航時における不具合件数の増加、2件のレベル1故障の発生についてはある特定の機体に搭載している気象レーダー装置の不具合に起因している。本件については、設計に問題があることが確認されており、製造メーカーにて順次改善型の新しいモジュール(送受信に係わるアッセンブリ)へ交換を進めている。本改修により品質が向上し、今後、不具合件数は減少するものと考ええる。
	2012	130	0	2012	193,762	752,292	11	2012	193,762	0	
	2011	126	0	2011	170,619	691,709	5	2011	170,619	0	
	2010	116	3	2010	161,936	658,630	7	2010	161,936	0	
	2009	120	0	2009	171,038	674,048	4	2009	171,038	0	
	2008	68	3	2008	85,815	285,530	3	2008	85,815	0	
電波高度計 (合計 437台)	2013	95	4	2013	104,616	609,980	2	2013	104,616	0	不具合件数は増加傾向は無いが、製造メーカーより、ある型式に対して品質向上のための技術通報が出されている。弊社は当該技術通報を採用し順次改修を進めており、今後、品質は向上し、不具合件数は減少するものと考ええる。
	2012	197	6	2012	193,762	1,171,736	0	2012	193,762	0	
	2011	174	3	2011	170,619	1,086,695	9	2011	170,619	0	
	2010	171	1	2010	151,663	997,281	0	2010	151,663	0	
	2009	169	6	2009	141,880	952,763	7	2009	141,880	0	
	2008	78	3	2008	66,349	375,641	3	2008	66,349	0	
ELT (合計 373台)	2013	95	0	2013	104,616	457,853	0	2013	104,616	0	特段、改修等は実施していないが、近年、定期検査時の不具合は減少、不具合は殆んど見られない状況であり品質は安定している。レベル1故障の1件は落雷による偶発的なものであり定期検査、通常運航時の不具合との関連性はない。
	2012	126	0	2012	193,762	867,985	1	2012	193,762	1	
	2011	188	5	2011	170,619	790,023	0	2011	170,619	0	
	2010	103	1	2010	161,936	806,475	0	2010	161,936	0	
	2009	194	6	2009	171,038	917,763	0	2009	171,038	0	
	2008	96	8	2008	85,815	414,461	0	2008	85,815	0	

- (注) ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。  
 ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。  
 ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。  
 ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。  
 ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (B社)

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
216台	12件 (VHF、気象レーダー)	33件 (VHF、電波高度計)	有	全て外注整備	ACAS、T/PON-S、電波高度計、HF、気象レーダーを他社委託	整備規程

(注)

- ・①の「○」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ・②及び③の「○」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ・④には、「有」か「無」を記載。
- ・⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ・⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
0件	4件(VHF、気象レーダー)	8件 (VHF、ACAS)	1件 (ELT)	16件 (VHF、電波高度計)	15件 (VHF、DME)	1件 (T/PON)

(注)

- ・カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ・定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- ・通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	データ取得困難	データ取得困難	件数	年	データ取得困難		件数
VHF無線電話 (合計 71 台)	2013	71台	0件	2013	データ取得困難	データ取得困難	1件	2013	データ取得困難	0件	
	2012	71台	5件	2012	同上	同上	2件	2012	同上	0件	
	2011	71台	1件	2011	同上	同上	4件	2011	同上	0件	
	2010	71台	0件	2010	同上	同上	3件	2010	同上	0件	
	2009	71台	0件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	0件	
	2008	71台	0件	2008	同上	同上	3件	2008	同上	0件	
HF無線電話 (合計 1 台)	2013	1台	0件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	
	2012	1台	0件	2012	同上	同上	0件	2012	同上	0件	
	2011	1台	0件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	1台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	1台	0件	2009	同上	同上	0件	2009	同上	0件	
	2008	1台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	
ATCトランスポンダ (合計 37 台)	2013	37台	1件	2013	同上	同上	1件	2013	同上	0件	
	2012	37台	0件	2012	同上	同上	1件	2012	同上	0件	
	2011	37台	0件	2011	同上	同上	1件	2011	同上	0件	
	2010	37台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	37台	0件	2009	同上	同上	0件	2009	同上	0件	
	2008	37台	0件	2008	同上	同上	2件	2008	同上	0件	
機上DME (合計 34 台)	2013	34台	0件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	
	2012	34台	0件	2012	同上	同上	3件	2012	同上	0件	
	2011	34台	1件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	34台	0件	2010	同上	同上	1件	2010	同上	0件	
	2009	34台	0件	2009	同上	同上	0件	2009	同上	0件	
	2008	34台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (B社)

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	データ取得困難	データ取得困難	件数	年	データ取得困難		件数
ACAS (合計 7 台)	2013	7台	0件	2013	データ取得困難	データ取得困難	0件	2013	データ取得困難	0件	
	2012	7台	0件	2012	同上	同上	0件	2012	同上	0件	
	2011	7台	0件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	7台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	7台	1件	2009	同上	同上	2件	2009	同上	0件	
	2008	7台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	
気象レーダー (合計 10 台)	2013	10台	0件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	
	2012	10台	1件	2012	同上	同上	1件	2012	同上	0件	
	2011	10台	0件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	10台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	10台	1件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	0件	
	2008	10台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	
電波高度計 (合計 20 台)	2013	20台	0件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	
	2012	20台	1件	2012	同上	同上	2件	2012	同上	0件	
	2011	20台	0件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	20台	0件	2010	同上	同上	1件	2010	同上	0件	
	2009	20台	0件	2009	同上	同上	0件	2009	同上	0件	
	2008	20台	0件	2008	同上	同上	2件	2008	同上	0件	
ELT (合計 36 台)	2013	36台	0件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	
	2012	36台	0件	2012	同上	同上	0件	2012	同上	0件	
	2011	36台	0件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	36台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	36台	0件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	1件	
	2008	36台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（c社）

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
180台	12件 (HF、VHF)	21件 (VHF、ACAS)	無	全て他社委託	全て他社委託	整備規程

(注)

- ①の「〇」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ②及び③の「〇」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ④には、「有」か「無」を記載。
- ⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
0件 (－)	0件 (－)	12件 (HF、VHF)	0件 (－)	4件 (HF、VHF)	1件 (VHF)	16件 (VHF、ACAS)

(注)

- カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- 定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- 通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合



# データ及び無線局の管理運用状況の概要（c社）

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	回数		件数
VHF無線電話 (合計36台)	2013	36台	0件	2013	10087回	40035時間	3件	2013	10087回	0件	(2)の2012年度の不具合は3件ともDISPLAYの表示不良であるが、読み取り及びTABDATAの取得ともに影響を及ぼさない程度。
	2012	24台	3件	2012	14037回	59662時間	0件	2012	14037回	0件	
	2011	18台	0件	2011	12487回	52044時間	4件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	
HF無線電話 (合計21台)	2013	21台	0件	2013	10087回	22256時間	1件	2013	10087回	0件	(3)のHFの不具合について、HF Couplerの不具合によるものが各年度1件ずつ、合計3件発生した。
	2012	13台	3件	2012	14037回	31271時間	2件	2012	14037回	0件	
	2011	10台	1件	2011	12487回	29081時間	1件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	
ATCトランスポンダ (合計24台)	2013	24台	0件	2013	10087回	26690時間	0件	2013	10087回	0件	
	2012	16台	1件	2012	14037回	39768時間	0件	2012	14037回	0件	
	2011	12台	0件	2011	12487回	34704時間	0件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	
機上DME (合計24台)	2013	24台	0件	2013	10087回	26792時間	0件	2013	10087回	0件	
	2012	16台	0件	2012	14037回	39768時間	0件	2012	14037回	0件	
	2011	11台	1件	2011	12487回	34704時間	2件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（c社）

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	回数		件数
ACAS (合計15台)	2013	15台	0件	2013	10087回	13344時間	1件	2013	10087回	0件	(3)において、“TCAS FAULT” MSGの点灯が頻発したが、HARDWAREの改修を行った結果、本不具合は減少した。
	2012	10台	0件	2012	14037回	19922時間	3件	2012	14037回	0件	
	2011	8台	0件	2011	12487回	17348時間	0件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	
気象レーダー (合計14台)	2013	14台	0件	2013	10087回	13345時間	0件	2013	10087回	0件	
	2012	10台	0件	2012	14037回	19884時間	1件	2012	14037回	0件	
	2011	7台	0件	2011	12487回	17348時間	0件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	
電波高度計 (合計25台)	2013	25台	0件	2013	10087回	26690時間	1件	2013	10087回	0件	
	2012	17台	1件	2012	14037回	39764時間	1件	2012	14037回	0件	
	2011	13台	1件	2011	12487回	34699時間	1件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	
ELT (合計21台)	2013	21台	1件	2013	10087回	20992時間	0件	2013	10087回	0件	
	2012	11台	0件	2012	14037回	28752時間	0件	2012	14037回	0件	
	2011	9台	0件	2011	12487回	22992時間	0件	2011	12487回	0件	
	2010	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2010	データ取得困難	データ取得困難	
	2009	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	データ取得困難	2009	データ取得困難	データ取得困難	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (D社)

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
164 台	4件 (VHF, DME, ACAS,ELT)	3件 (VHF, DME, 電波高度計)	無	全て委託	全て委託	整備規程及び無線関連業務要領

(注)

- ①の「〇」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ②及び③の「〇」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ④には、「有」か「無」を記載。
- ⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
0件	0件	4件 (VHF, DME, ACAS,ELT)	0件	3件 (VHF, DME, 電波高度計)	0件	0件

(注)

- カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- 定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- 通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (D社)

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	回数		件数
VHF無線電話 (合計 34 台)	2013	9台	1件(*1)	2013	9,152回	40,089時間	0件	2013	9,152回	0件	N/A : 運用開始は2011年のため 2013年度データは9月末時点のもの (以下同様)  (*1) 送信出力が電波法基準値逸脱 (*2) 送受信不可
	2012	11台	0件	2012	12,073回	50,972時間	1件(*2)	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	3,849時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	
HF無線電話 (合計 12 台)	2013	0台	0件	2013	9,152回	13,363時間	0件	2013	9,152回	0件	
	2012	4台	0件	2012	12,073回	16,990時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	1,283時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	
ATCトランスポンダ (合計 23 台)	2013	5台	0件	2013	9,152回	26,726時間	0件	2013	9,152回	0件	
	2012	9台	0件	2012	12,073回	33,981時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	2,566時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	
機上DME (合計 23 台)	2013	4台	0件	2013	9,152回	26,726時間	1件(*2)	2013	9,152回	0件	(*1) 送信出力が電波法基準値逸脱 (*2) 受信不可
	2012	8台	1件(*1)	2012	12,073回	33,981時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	2,566時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（D社）

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	回数		件数
ACAS (合計 14 台)	2013	1台	0件	2013	9,152回	13,363時間	0件	2013	9,152回	0件	(*1) パルス幅が電波法基準値逸脱
	2012	5台	1件 (*1)	2012	12,073回	16,991時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	1,283時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	
気象レーダー (合計 12 台)	2013	2台	0件	2013	9,152回	13,363時間	0件	2013	9,152回	0件	
	2012	5台	0件	2012	12,073回	16,991時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	1,283時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	
電波高度計 (合計 23 台)	2013	0台	0件	2013	9,152回	26,726時間	1件 (*1)	2013	9,152回	0件	(*1) 送受信不可
	2012	9台	0件	2012	12,073回	33,981時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	2,566時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	
ELT (合計 23 台)	2013	0台	0件	2013	9,152回	26,726時間	0件	2013	9,152回	0件	(*1) 送信出力不足
	2012	9台	1件 (*1)	2012	12,073回	33,981時間	0件	2012	12,073回	0件	
	2011	N/A	N/A	2011	941回	2,566時間	0件	2011	941回	0件	
	2010	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	N/A	2010	N/A	N/A	
	2009	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	N/A	2009	N/A	N/A	
	2008	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	N/A	2008	N/A	N/A	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（E社）

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
535台	32件 (VHF, T/PON)	103件 (VHF, T/PON)	有	機器単体の修理時は、全て他社委託	ACASの全て及び気象レーダーの一部を除き自社整備(点検)	整備規定及び電波法

(注)

- ①の「○」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ②及び③の「○」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ④には、「有」か「無」を記載。
- ⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
13件 (VHF, T/PON)	5件 (VHF, T/PON)	14件 (VHF, T/PON)	29件 (DME, T/PON)	28件 (VHF, T/PON)	9件 (VHF)	1件 (DME)

(注)

※レベル1～3に相当しない(無線機の不具合以外)件数 36件

- カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- 定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- 通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（E社）

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数				(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項
	年	台数	件数	年	データ取得困難	データ取得困難	件数	年	データ取得困難	件数	
VHF無線電話 (合計164台)	2013	164台	0件	2013	データ取得困難	データ取得困難	4件	2013	データ取得困難	0件	※1. 運航回数に関して小型機では、データの取得が困難な為、省略。 ※2. 時間に関して年度毎、型式毎のデータの取得が困難な為、省略。 ※3. 毎年全台数ベンチ検査実施
	2012	164台	2件	2012	同上	同上	8件	2012	同上	0件	
	2011	164台	0件	2011	同上	同上	6件	2011	同上	0件	
	2010	164台	1件	2010	同上	同上	4件	2010	同上	0件	
	2009	164台	2件	2009	同上	同上	8件	2009	同上	0件	
	2008	164台	2件	2008	同上	同上	4件	2008	同上	0件	
HF無線電話 (合計5台)	2013	5台	1件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	同上
	2012	5台	0件	2012	同上	同上	0件	2012	同上	0件	
	2011	5台	0件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	5台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	5台	0件	2009	同上	同上	0件	2009	同上	0件	
	2008	5台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	
ATCトランスポンダ (合計87台)	2013	87台	0件	2013	同上	同上	2件	2013	同上	2件	同上
	2012	87台	2件	2012	同上	同上	3件	2012	同上	2件	
	2011	87台	2件	2011	同上	同上	1件	2011	同上	1件	
	2010	87台	1件	2010	同上	同上	1件	2010	同上	0件	
	2009	87台	1件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	1件	
	2008	87台	1件	2008	同上	同上	1件	2008	同上	1件	
機上DME (合計71台)	2013	71台	1件	2013	同上	同上	2件	2013	同上	2件	同上
	2012	71台	3件	2012	同上	同上	2件	2012	同上	2件	
	2011	71台	1件	2011	同上	同上	3件	2011	同上	3件	
	2010	71台	1件	2010	同上	同上	1件	2010	同上	0件	
	2009	71台	0件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	1件	
	2008	71台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	

- (注) ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。  
 ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。  
 ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。  
 ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。  
 ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（E社）

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	データ取得困難	データ取得困難	件数	年	データ取得困難		件数
ACAS (合計14台)	2013	14台	0件	2013	データ取得困難	データ取得困難	0件	2013	データ取得困難	0件	※1. 運航回数に関して小型機では、データの取得が困難な為、省略。 ※2. 時間に関して年度毎、型式毎のデータの取得が困難な為、省略。 ※3. 毎年全台数ベンチ検査実施。
	2012	14台	0件	2012	同上	同上	1件	2012	同上	1件	
	2011	14台	0件	2011	同上	同上	1件	2011	同上	1件	
	2010	14台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	14台	0件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	1件	
	2008	14台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	
気象レーダー (合計20台)	2013	20台	0件	2013	同上	同上	1件	2013	同上	1件	同上
	2012	20台	0件	2012	同上	同上	2件	2012	同上	2件	
	2011	20台	2件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	20台	0件	2010	同上	同上	1件	2010	同上	1件	
	2009	20台	0件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	1件	
	2008	20台	0件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	
電波高度計 (合計44台)	2013	44台	0件	2013	同上	同上	3件	2013	同上	3件	同上
	2012	44台	2件	2012	同上	同上	1件	2012	同上	1件	
	2011	44台	1件	2011	同上	同上	0件	2011	同上	0件	
	2010	44台	0件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	44台	1件	2009	同上	同上	1件	2009	同上	1件	
	2008	44台	0件	2008	同上	同上	1件	2008	同上	1件	
ELT (合計130台)	2013	130台	1件	2013	同上	同上	0件	2013	同上	0件	同上
	2012	130台	1件	2012	同上	同上	0件	2012	同上	0件	
	2011	130台	0件	2011	同上	同上	1件	2011	同上	0件	
	2010	130台	1件	2010	同上	同上	0件	2010	同上	0件	
	2009	130台	1件	2009	同上	同上	0件	2009	同上	0件	
	2008	130台	1件	2008	同上	同上	0件	2008	同上	0件	

- (注) ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。  
 ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。  
 ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。  
 ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。  
 ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。



# データ及び無線局の管理運用状況の概要（F社）

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
72台	9件 (ACAS、RA)	21件 (VHF、HF)	無	全て他社委託	全て他社委託	整備規程

(注)

- ①の「〇」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ②及び③の「〇」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ④には、「有」か「無」を記載。
- ⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
0件	0件	9件 (ACAS、RA)	0件	4件	17件(ACAS、 ATC、WR)	0件

(注)

- カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- 定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- 通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
 レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
 レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
 レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
 レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (F社)

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	回数		時間
VHF無線電話 (合計 15台)	2013	8台	0件	2013	8018回	30234時間	1件	2013	8018回	0件	通常運航時における不具合はあるものの、 顕著な傾向は無い。
	2012	8台	0件	2012	8385回	31650時間	0件	2012	8385回	0件	
	2011	7台	0件	2011	6922回	26085時間	2件	2011	6922回	0件	
	2010	7台	0件	2010	6671回	25254時間	0件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	19236時間	0件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	
HF無線電話 (合計 0台)	2013	-	-	2013	-	-	-	2013	-	-	HF無線電話は未搭載
	2012	-	-	2012	-	-	-	2012	-	-	
	2011	-	-	2011	-	-	-	2011	-	-	
	2010	-	-	2010	-	-	-	2010	-	-	
	2009	-	-	2009	-	-	-	2009	-	-	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	
ATCトランスポンダ (合計 10台)	2013	5台	0件	2013	8018回	20156時間	0件	2013	8018回	0件	通常運航時における不具合はあるものの、 顕著な傾向は無い。
	2012	5台	0件	2012	8385回	21100時間	2件	2012	8385回	0件	
	2011	5台	0件	2011	6922回	17390時間	2件	2011	6922回	0件	
	2010	5台	1件	2010	6671回	16836時間	0件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	12824時間	0件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	
機上DME (合計 10台)	2013	5台	0件	2013	8018回	20156時間	0件	2013	8018回	0件	通常運航時における不具合はあるものの、 顕著な傾向は無い。
	2012	6台	0件	2012	8385回	21100時間	1件	2012	8385回	0件	
	2011	5台	0件	2011	6922回	17390時間	1件	2011	6922回	0件	
	2010	5台	1件	2010	6671回	16836時間	0件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	12824時間	0件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (F社)

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	回数		時間
ACAS (合計 6台)	2013	3台	0件	2013	8018回	10078時間	0件	2013	8018回	0件	定期検査時における不具合は2013年度を除き、各年度に1件生じた。またTCAS FAIL MSGが生じたことによる不具合が2010、2011年度にあり、航空局に情報連絡した。但し他の通信に影響を及ぼす不具合では無い。
	2012	3台	1件	2012	8385回	10550時間	0件	2012	8385回	0件	
	2011	3台	1件	2011	6922回	8695時間	4件	2011	6922回	0件	
	2010	3台	1件	2010	6671回	8418時間	3件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	6412時間	0件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	
気象レーダー (合計 8台)	2013	4台	0件	2013	8018回	10078時間	0件	2013	8018回	0件	通常運航時における不具合はあるものの、顕著な傾向は無い。
	2012	4台	1件	2012	8385回	10550時間	1件	2012	8385回	0件	
	2011	4台	0件	2011	6922回	8695時間	1件	2011	6922回	0件	
	2010	4台	0件	2010	6671回	8418時間	1件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	6412時間	1件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	
電波高度計 (合計 14台)	2013	7台	1件	2013	8018回	30234時間	0件	2013	8018回	0件	通常運航時における不具合はあるものの、顕著な傾向は無い。
	2012	7台	0件	2012	8385回	31650時間	0件	2012	8385回	0件	
	2011	7台	2件	2011	6922回	26085時間	1件	2011	6922回	0件	
	2010	7台	0件	2010	6671回	25254時間	0件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	19236時間	0件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	
ELT (合計 9台)	2013	4台	0件	2013	8018回	20156時間	0件	2013	8018回	0件	不具合は無い。
	2012	5台	0件	2012	8385回	21100時間	0件	2012	8385回	0件	
	2011	5台	0件	2011	6922回	17390時間	0件	2011	6922回	0件	
	2010	4台	0件	2010	6671回	16836時間	0件	2010	6671回	0件	
	2009	-	-	2009	5089回	12824時間	0件	2009	5089回	0件	
	2008	-	-	2008	-	-	-	2008	-	-	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (G社)

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
4090台	不具合件数: 701件 検査件数: 10249件発見 率6.8% (ACAS、電波高度計)	不具合件数: 669件 運航回数:26 4万回、発生 率0.025% (VHF、HF)	有	ある特定の機体の搭載無線装置(VHF/ATC/WR/DME/ACS)を除き、全て自社・グループ内整備	ある特定の機体の搭載無線装置(VHF/ATC/WR/DME/ACS/RA)のみ他社委託	整備規程・無線業務規程・登録点検業務要領・無線局管理業務要領

(注)・①の「○」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。

・②及び③の「○」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。

・④には、「有」か「無」を記載。・⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。・⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
29件 (DME、HF)	15件 (VHF、HF)	657件 (VHF、電波高度計)	4件 (VHF、気象レーダー)	264件 (気象レーダー、DME)	0件	401件 (ACS、ATC)

レベル1: 4件の内訳は、VHF CONT. PNL不具合によるVHFシステム使用不可、および、WXRDR1式装備の機体における1式の故障

(注)

・カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。・定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。

レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合

レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合

レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

・通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。

レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合

レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合

レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合

レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（G社）

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数 (万便、件/万便、万時間、件)				(4)左記(3)のうちレベル1の件数、件/万便			(5)特記事項
	年	台数	件数	年	件数	時間	件数	年	件数	万便	
VHF無線電話 (合計773台)	2013	304台	8件	44	1/2.75	270	16	44	0		
	2012	354台	10件	44	1/3.14	260	14	44	0		
	2011	356台	12件	43	1/3.07	250	14	43	0		
	2010	357台	11件	42	1/2.47	230	17	42	0		
	2009	353台	22件	46	1/3.06	250	15	46	0		
	2008	375台	26件	44	1/2.31	220	19	44	1	1/44.0	
HF無線電話 (合計 257台)	2013	88台	8件	44	1/5.50	180	8	44	0		
	2012	83台	7件	44	1/5.50	170	8	44	0		
	2011	93台	6件	43	1/14.3	170	3	43	0		
	2010	95台	5件	42	1/14.0	150	3	42	0		
	2009	114台	9件	46	1/15.3	170	3	46	0		
	2008	103台	15件	44	1/8.80	140	5	44	0		
ATCトランスポンダ (合計539台)	2013	206台	4件	44	1/5.50	180	8	44	0		
	2012	233台	8件	44	1/1.93	170	23	44	0		
	2011	267台	7件	43	1/1.95	170	22	43	0		
	2010	254台	7件	42	1/2.21	150	19	42	0		
	2009	254台	6件	46	1/2.71	170	17	46	0		
	2008	223台	7件	44	1/1.91	140	23	44	0		
機上DME (合計522台)	2013	216台	8件	44	1/2.00	180	20	44	0		
	2012	249台	4件	44	1/1.76	170	25	44	0		
	2011	270台	2件	43	1/2.53	170	17	43	0		
	2010	265台	5件	42	1/2.00	150	21	42	0		
	2009	281台	3件	46	1/5.75	170	8	46	0		
	2008	279台	8件	44	1/4.00	140	11	44	0		

(注)・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。

・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。

・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。

・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。

・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (G社)

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数 (万便・件/万便・万時間・件)				(4)左記(3)のうちレベル1の件数			(5)特記事項
	年	台数	件数	年	万便	時間	件数	年	レベル1	レベル2	
ACAS (合計264台)	2013	82台	26件	44	1/1.38	90	32	44	0件		
	2012	123台	44件	44	1/3.38	90	13	44	0件		
	2011	110台	26件	43	1/1.87	80	23	43	0件		
	2010	121台	27件	42	1/1.91	80	22	42	0件		
	2009	130台	24件	46	1/1.70	80	27	46	0件		
	2008	119台	15件	44	1/1.76	70	25	44	0件		
気象レーダー (合計386台)	2013	92台	2件	44	1/2.75	90	16	44	1件	1/44.0	
	2012	114台	3件	44	1/1.69	90	26	44	0件		
	2011	111台	1件	43	1/1.39	80	31	43	0件		
	2010	144台	4件	42	1/2.63	80	16	42	2件	1/21.0	
	2009	140台	3件	46	1/2.00	80	23	46	0件		
	2008	170台	8件	44	1/2.20	70	20	44	0件		
電波高度計 (合計 674台)	2013	256台	56件	44	1/1.57	180	28	44	0件		
	2012	341台	77件	44	1/1.91	170	23	44	0件		
	2011	305台	51件	43	1/3.58	170	12	43	0件		
	2010	327台	39件	42	1/2.00	150	21	42	0件		
	2009	313台	24件	46	1/3.29	170	14	46	0件		
	2008	352台	16件	44	1/2.75	140	16	44	0件		
ELT (合計675台)	2013	262台	22件	44	1/22.0	270	2	44	0件		
	2012	324台	4件	44	1/44.0	260	1	44	0件		
	2011	313台	9件	43	1/10.75	250	4	43	0件		
	2010	285台	3件	42	DIV	230	0	42	0件		
	2009	377台	1件	46	DIV	250	0	46	0件		
	2008	239台	8件	44	DIV	220	0	44	0件		

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要（H社）

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類

(注)

- ・①の「○」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ・②及び③の「○」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ・④には、「有」か「無」を記載。
- ・⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ・⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
-						
285件 (VHF、ELT)			821件 (VHF、ATCトラポン)			

(注)

- ・カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ・定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。
  - レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合
  - レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合
  - レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- ・通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。
  - レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合
  - レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合
  - レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合
  - レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (H社)

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項	
	年	台	件	年	台	件	年	回	件		
VHF無線電話 (合計 台)	2013	-	-	/	2013	-	-	2013	-	-	機器の整備のみを実施しているため、不具合台数は受け入れ件数と同じ意味である。年1回の検査であるため同じ機器を一年のうちに2回以上定期検査としての点検を実施することはない。
	2012	-	-		2012	-	-	2012	-	-	
	2011	228	24		2011	115		2011			
	2010	159	22		2010	121		2010			
	2009	169	24		2009	105		2009			
	2008	162	25		2008	127		2008			
HF無線電話 (合計 台)	2013	-	-	/	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-	-		2012	-	-	2012	-	-	
	2011	28	3		2011	0		2011			
	2010	33	1		2010	0		2010			
	2009	16	1		2009	0		2009			
	2008	21	0		2008	2		2008			
ATCトランスポンダ (合計 台)	2013	-	-	/	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-	-		2012	-	-	2012	-	-	
	2011	56	4		2011	39		2011			
	2010	64	5		2010	30		2010			
	2009	58	1		2009	24		2009			
	2008	65	3		2008	45		2008			
機上DME (合計 台)	2013	-	-	/	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-	-		2012	-	-	2012	-	-	
	2011	90	1		2011	16		2011			
	2010	88	3		2010	17		2010			
	2009	100	3		2009	8		2009			
	2008	92	3		2008	20		2008			

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。



# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (H社)

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数			(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項
ACAS (合計 台)	2013	-台	-件	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-台	-件				2012	-	-	
	2011	145台	5件				2011	2	2	
	2010	98台	5件				2010	1	1	
	2009	117台	4件				2009	2	2	
	2008	104台	1件				2008	0	0	
気象レーダー (合計 台)	2013	-台	-件	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-台	-件				2012	-	-	
	2011	81台	1件				2011	9	9	
	2010	72台	4件				2010	8	8	
	2009	80台	3件				2009	12	12	
	2008	69台	2件				2008	7	7	
電波高度計 (合計 台)	2013	-台	-件	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-台	-件				2012	-	-	
	2011	188台	13件				2011	20	20	
	2010	121台	6件				2010	9	9	
	2009	93台	0件				2009	18	18	
	2008	100台	4件				2008	20	20	
ELT (合計 台)	2013	-台	-件	2013	-	-	2013	-	-	
	2012	-台	-件				2012	-	-	
	2011	206台	20件				2011	13	13	
	2010	227台	18件				2010	8	8	
	2009	199台	24件				2009	18	18	
	2008	154台	52件				2008	5	5	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (I社)

## 1. データ及び無線局の管理運用状況の過去最大6年分の総計表

①無線設備の保有台数	②定期検査時の不具合件数	③通常運航時の不具合件数	④登録検査等事業者の登録	⑤整備体制(自社整備体制・他社整備体制)	⑥点検体制(電波法に基づく点検の実施体制)	⑦無線局の運用に係る規程類
260台	1件 0.3% (ELT)	28件 10.7% (気象レーダー、VHF他)	有	VHFの2装置のみ 自社整備	VHF2装置の型式を除き 全て他社へ委託	整備規程及び 無線業務規程

(注)

- ①の「○」部分には無線設備の全ての種類の全ての型式を合計した数を記載。
- ②及び③の「○」部分には、過去最大6年分の不具合件数を記載。カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- ④には、「有」か「無」を記載。
- ⑤及び⑥には、表中の記述を参考に記載。
- ⑦には、整備規程以外にも有している場合はその名称も具体的に記載。

## 2. ②及び③の不具合のレベル毎の発生状況

②定期検査時の不具合件数			③通常運航時の不具合件数			
レベル1	レベル2	レベル3	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
0件 (VHF、HF)	0件 (VHF、ACAS)	1件 (ELT)	0件 (VHF、HF)	0件 (VHF、ACAS)	28件 (VHF、気象レーダー)	0件 (VHF、HF)

(注)

- カッコ内は不具合件数の上位2位までの無線設備の種別を記載。
- 定期検査時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
レベル1: 通信不能や他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
レベル2: レベル1を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル1の事象に繋がる可能性のある不具合  
レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合
- 通常運航時の不具合件数のレベル分けは以下の通り。  
レベル1: 冗長系を含むシステムの全喪失や、他の通信に影響を及ぼす事象に直接繋がった不具合  
レベル2: レベル1を除く不具合でかつ通信不能に直接繋がった不具合  
レベル3: レベル1及びレベル2を除く不具合でかつ継続して使用するとレベル2の事象に繋がる可能性のある不具合  
レベル4: レベル1からレベル3までを除く不具合でかつ運用上の支障はなく、進展もすることのない不具合であったが、電波法の技術基準を満たさない不具合

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (I社)

## 3-1. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数				(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	台数	件数	
VHF無線電話 (合計43台)	2013	13台	0件	2013	7700回	37300時間	4件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	30台	0件	2012	7300回	37300時間	5件	2012	0台	0件	
	2011	17台	0件	2011	6800回	35400時間	1件	2011	0台	0件	
	2010	26台	0件	2010	7300回	36100時間	0件	2010	0台	0件	
	2009	43台	0件	2009	6400回	33000時間	1件	2009	0台	0件	
	2008	43台	0件	2008	6100回	32200時間	3件	2008	0台	0件	
HF無線電話 (合計30台)	2013	30台	0件	2013	7700回	37300時間	1件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	22台	0件	2012	7300回	37300時間	1件	2012	0台	0件	
	2011	10台	0件	2011	6800回	35400時間	2件	2011	0台	0件	
	2010	12台	0件	2010	7300回	36100時間	1件	2010	0台	0件	
	2009	22台	0件	2009	6400回	33000時間	3件	2009	0台	0件	
	2008	20台	0件	2008	6100回	32200時間	1件	2008	0台	0件	
ATCトランスポンダ (合計30台)	2013	30台	0件	2013	7700回	37300時間	1件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	26台	0件	2012	7300回	37300時間	0件	2012	0台	0件	
	2011	20台	0件	2011	6800回	35400時間	0件	2011	0台	0件	
	2010	20台	0件	2010	7300回	36100時間	4件	2010	0台	0件	
	2009	20台	0件	2009	6400回	33000時間	0件	2009	0台	0件	
	2008	14台	0件	2008	6100回	32200時間	1件	2008	0台	0件	
機上DME (合計27台)	2013	27台	0件	2013	7700回	37300時間	0件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	23台	0件	2012	7300回	37300時間	0件	2012	0台	0件	
	2011	19台	0件	2011	6800回	35400時間	0件	2011	0台	0件	
	2010	19台	0件	2010	7300回	36100時間	0件	2010	0台	0件	
	2009	19台	0件	2009	6400回	33000時間	0件	2009	0台	0件	
	2008	14台	0件	2008	6100回	32200時間	0件	2008	0台	0件	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。

# データ及び無線局の管理運用状況の概要 (I社)

## 3-2. 無線設備の種類毎の経年における不具合の発生状況

(1)無線設備の種類	(2)定期検査時の不具合件数			(3)通常運航時の不具合件数				(4)左記(3)のうちレベル1の不具合件数			(5)特記事項
	年	台数	件数	年	回数	時間	件数	年	台数	件数	
ACAS (合計16台)	2013	16台	0件	2013	7700回	37300時間	1件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	14台	0件	2012	7300回	37300時間	0件	2012	0台	0件	
	2011	12台	0件	2011	6800回	35400時間	4件	2011	0台	0件	
	2010	12台	0件	2010	7300回	36100時間	2件	2010	0台	0件	
	2009	12台	0件	2009	6400回	33000時間	0件	2009	0台	0件	
	2008	10台	0件	2008	6100回	32200時間	0件	2008	0台	0件	
気象レーダー (合計29台)	2013	29台	0件	2013	7700回	37300時間	8件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	24台	0件	2012	7300回	37300時間	2件	2012	0台	0件	
	2011	20台	0件	2011	6800回	35400時間	4件	2011	0台	0件	
	2010	20台	0件	2010	7300回	36100時間	4件	2010	0台	0件	
	2009	16台	0件	2009	6400回	33000時間	3件	2009	0台	0件	
	2008	14台	0件	2008	6100回	32200時間	2件	2008	0台	0件	
電波高度計 (合計43台)	2013	43台	0件	2013	7700回	37300時間	3件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加
	2012	34台	0件	2012	7300回	37300時間	2件	2012	0台	0件	
	2011	28台	0件	2011	6800回	35400時間	0件	2011	0台	0件	
	2010	28台	0件	2010	7300回	36100時間	0件	2010	0台	0件	
	2009	28台	0件	2009	6400回	33000時間	2件	2009	0台	0件	
	2008	20台	0件	2008	6100回	32200時間	0件	2008	0台	0件	
ELT (合計42)	2013	42台	0件	2013	7700回	37300時間	0件	2013	0台	0件	新設検査および変更検査受検による局数増加。 定期検査受検時の不具合で1台削除(2011年)
	2012	35台	0件	2012	7300回	37300時間	0件	2012	0台	0件	
	2011	30台	1件	2011	6800回	35400時間	0件	2011	0台	0件	
	2010	30台	0件	2010	7300回	36100時間	0件	2010	0台	0件	
	2009	30台	0件	2009	6400回	33000時間	0件	2009	0台	0件	
	2008	26台	0件	2008	6100回	32200時間	0件	2008	0台	0件	

(注)

- ・(1)には無線設備の種類毎に保有する型式の合計台数を記載。
- ・(2)の「○」には、ベンチ検査を行った無線設備の台数、「△」には、全型式の不具合件数を記載。
- ・(3)の「○」には、航空機の運航回数(冗長系を積んでいても運航回数は1回とする)、「□」には、全ての型式の総飛行時間(冗長系を積んでいる場合はその飛行時間も合算する)、「△」には全型式の不具合件数を記載。
- ・(4)の「○」には、航空機の運航回数(上に同じ)、「△」には、全型式の不具合件数のうち、レベル1に当たる不具合件数を記載。
- ・(5)には、(2)から(4)の件数に経年の傾向があれば、その傾向及びその要因として考えられる事項を記載するほか、(2)と(3)及び(4)との関係性が見える場合は、その関係性を記載。